

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR SEMIOTIC STUDIES
ANNUAL MEETING, KOBE, MAY, 2010

SEMIOTICS OF JUDGEMENT

日本記号学会第30回大会

「判定」の記号論

5月8日(土)

【問題提起】 14時～14時15分

前川修 (神戸大学・芸術学)

【セッション1】 14時30分～17時30分

揺れる法廷?—裁判員制度における〈判定〉

藤田政博 (関西大学・法心理学、社会心理学)

堀田秀吾 (明治大学・法言語学、理論言語学)

山口進 (朝日新聞GLOBE副編集長)

+ 神戸大学大学院教育改革プロジェクト (協賛)

5月9日(日)

【研究報告】 10時～12時15分

【セッション2】 13時30分～14時40分

判定の思想—《最後の審判》から生命の判定まで

岡田温司 (京都大学・美術史) × 檜垣立哉 (大阪大学・哲学)

【セッション3】 15時05分～16時25分

近代スポーツの終焉?

—判定の変容、裁かれる身体の現在—

稲垣正浩 (「I-S-I-21」主幹研究員・神戸市外国語大学客員教授・スポーツ史、

スポーツ文化論) × 吉岡洋 (京都大学・美学)

会場 神戸大学瀧川記念学術交流会館

参加費(資料代) 1000円